

令和6年度 第20回新居浜市小・中学生科学奨励賞発表会

日時 令和7年1月11日（土）13時30分～16時
場所 愛媛県総合科学博物館 多目的ホール



開会式・閉会式・作品展

【開会式（開会挨拶）】

古川拓哉 新居浜市長の開会挨拶で始まりました。今年が20回目です。長い伝統のすばらしさとともに、伝統を築いてきた子どもたちの熱意と根気ある観察・研究にお褒めの言葉をいただきました。そして、支えてくださる皆様に感謝の言葉を述べられました。

【表彰】

新居浜ロータリークラブ 伊東省司会長が、特選、優秀、入選の入賞作品41点（共同研究含む）の表彰をしてくださいました。一人一人を大切に賞状の授与をしてくださり、受賞者は笑顔で受け取りました。



【受賞者たち】

壇上は緊張感がありますが、みんな胸を張り、笑顔輝く表彰式でした。身近な題材への興味関心から疑問を詳しく追究していく姿、数年にわたって継続的に取り組み発展していく姿、受賞は努力の賜物です。

【閉会式（講評）】

審査委員代表から、「うまくいかなかったことも貴重な経験。記録を残していくのが大事。」
「科学が好きで、発表できる小・中学生がたくさんいることがうれしい、頼もしい。」と、小・中学生に助言とエールをいただきました。発表者一組一組への助言がとてもありがたいです。



【閉会式（閉会挨拶）】

閉会に際し、新居浜南ロータリークラブ 岡林義幸会長は、「多くの皆さんが、テーマに応じた疑問をもち、チャレンジしている。チャレンジこそが学びの基。これをステップに自分の成長、発展を。」と子どもたちにお話しくさしました。



【科学奨励賞受賞作品展】

受賞作品展が12月27日～1月11日まで多目的ホール前フロアで開催されました。冬休み期間中、たくさんの方々に見ていただきました。